

草の根・人間の安全保障無償資金協力

「ドロー県ゴゴ小学校教育環境改善計画」 完工式

2017年10月27日



写真（左上）：柳沢大使（左）とシマンゴ初等教育副局長（右）

2017年10月27日、マラウイ国中部ドロー県チウエレ地区にて、被供与団体である「リロングウェ司教区マラウイ・カトリック開発委員会」の主催により、草の根・人間の安全保障無償資金協力「平成28年度ドロー県ゴゴ小学校教育環境改善計画」の完工式が執り行われました。本式典には、シマンゴ初等教育次長も臨席し、多くの関係者が祝辞の言葉を述べました。

ゴゴ小学校は、マラウイにおける他の小学校同様、在籍児童数に対して教室が大幅に不足しています。そのため、近隣の教会や木陰で授業を行ってきました。また、トイレも十分に整備されておらず、特に女子児童が退学する要因となっています。ゴゴ小学校の2015/2016年度の卒業試験合格率はおよそ50%であり、3分の1の児童が留年を繰り返す状況でした。このような状況を改善するため、日本政府は、98,642米ドルを「リロングウェ司教区マラウイ・カトリック開発委員会」に贈与し、教室棟2棟及び児童用トイレ4棟の建設、生徒用机・椅子240台の調達を支援しました。

式典で柳沢大使は、マラウイ・カトリック開発委員会が迅速に事業を完了させたことに対し、賛辞の言葉を贈りました。また、コミュニティから4,000個のレンガが提供されるなど、あらゆる関係者の協力に対し、感謝の意を表しました。最後に柳沢大使は、次世代の子どもたちにも質の良い教育がなされ、施設が十分に活用されるべく、適切なメンテナンスを実施するよう、関係者に対し要請を行いました。